

nara 2017 marathon

平城京の北方、京都府境に横たわる丘陵を「平城山(ならやま)」といい、この北の守り神が「玄武」。亀に蛇が絡む意匠で描かれる。



nara 2014 marathon

古代の色「青丹(あおに)」を基調に、背面に奈良公園の鹿(天然記念物)をデザインした。鹿は春日大社の神の使いとされる。



参加賞Tシャツ

T-shirt

マラソン、10 km種目にエントリーしたランナーすべてに贈られる参加賞Tシャツ。コース沿いの奈良を代表する寺院の有名な仏像、古墳壁画に描かれた古代の聖獣「四神」などがデザインされている。いずれも奈良マラソンのオリジナルデザインだが、テーマの仏像、四神はシリーズ化されており、実用だけでなくコレクションする楽しみも。またTシャツの色にも奈良マラソンらしい、こだわりを見せる。2012年大会からは、意匠の説明と合わせてメッセージも添えられ、ランナーたちを鼓舞する。

※10km種目の参加賞は2012年から。



nara 2018 marathon

「朱雀」は南方の守り神。平城宮の南門・朱雀門が復原され、マラソンコースからは、その壮麗な姿を見ることができる。



nara 2015 marathon

四神は高松塚古墳やキトラ古墳(いずれも奈良県明日香村)の壁画で描かれたものが有名。そのうち東方の守り神「青龍」をデザイン。



nara 2012 marathon

仏像シリーズ・第2弾は東大寺の「金剛力士」像。南大門に安置され、高さ8メートルを超える像がランナーたちを迎える。



nara 2010 marathon

前面に奈良市を出て天理市で折り返す全コース図が描かれ、関西で初となる市民参加の都市型マラソンを象徴する。



nara 2019 marathon

奈良マラソンの基調カラーである藤色(紫)の地に、10回記念らしくこれまでの大会で使用した完走メダルの奈良らしい図案を並べた。



nara 2016 marathon

四神は東西南北の守り神だが、平城宮の造営でも、その思想が生かされた。背面に描かれた「白虎」は西方を守る。



nara 2013 marathon

仏像シリーズ・第3弾は奈良を代表する仏像のひとつ興福寺の「阿修羅」像。少年のような眼差しに一目会いたいと多くのファンを持つ。



nara 2011 marathon

仏像シリーズの最初は、新薬師寺の十二神将で有名な「伐折羅(バサラ)」像が描かれる。天平彫刻の粋が憤怒の表情に現れる。



nara marathon 2021

奈良マラソンあるあるの「鹿がコースを横断」をあしらう。



nara marathon 2022

コース沿道の鹿が楽しく応援している様子をアメコミ風に表現



nara marathon 2023

初めてデザイン公募で選ぶ。奈良マラソンのロゴを前面に押し出し、背中は鹿とランナーの遭遇場面を表す。袖にもワンポイントでランナー応援メッセージを入れる。

